

ニュートリオミクスから迫る がんの病態解明と治療戦略



大澤研究室 (ニュートリオミクス・腫瘍学)

<https://www.onc.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/>

これまで独立のパラダイムとして考えられてきた、糖、脂質、アミノ酸欠乏に対する多重の適応代謝システムを介し、がん細胞は悪性化することが明らかになりつつあります。

当研究室では、栄養とオミクス解析を融合した「ニュートリオミクス」の視点からがんの病態解明と治療法の開発を目指しています。各種オミクス統合解析から細胞内の物質を多元的に積分して捉えた新たな腫瘍学の概念を紹介します。

